



読字 原田 鏡

No. 780

2015/ 11/5

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒110-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-8256  
岡山市東区3-8-30 514  
TEL: 0861-272-3010  
郵便番号1100  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8911  
倉敷市連島中央1-8-4 (宮地方)  
TEL: FAX: 0861-445-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.biz/>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 中国現代史を学ぶ会

### 15年戦争の歴史

### リットン調査団と国際連盟脱退

10月23日(金)の午後、岡輝公民館で標記の学習会が開かれました。今回は第3回目ということで、演題は「リットン調査団と国際連盟脱退」となっていました。

講師は青木康嘉さんで、参

加者は講師を含めて13名でした。

1931年の柳条湖事件から日本の国際連盟脱退までを、レジメにまとめられ、丁寧に説明してくださいました。リットン調査団が1932年2



2015/09/25

月29日に横浜に到着して以降、東京、上海、杭州、南京、武昌、北京、大連、奉天、長春、ハルビン、撫順、鞍山、錦州、青島、泰山、朝鮮京城、釜山とまわり、関釜連絡船で下関へと戻ってくる。そして、「そのリットン調査団の随行者が大原美術館を訪れている」ということを紹介されています。7月16日、調査を終了したリット

ン調査団は東京を発ち、10月1日調査報告を日本政府へ提出している。

内容は、全体的には日本に対して非常に好意的であったようですが、翌年2月20日、閣議で、対日勧告案可決の時、国連脱退を決定、と年表に書かれています。

最後にまとめられている文章を紹介いたします。

当時の内閣では、**齊藤実首相、山本達郎内相、高橋是清蔵相、鳩山一郎文相、後藤文雄農相、永井柳太郎拓相、元**

## 日中岡山太極拳講習会 第84期修了式と第85期の開講式

日中友好協会岡山支部太極拳講習会では、9月30日に第84期(一期は6か月間)の修了式を行いました。今回は西大寺芳野同好会の2人も加えて13人の参加でした。6か月間、熱心な講師のもとで、簡化二十四式、三十二式、剣の練習に励み、成果を表演(四十二式、三十六式扇も加えて)互いに次に向けての

老西園寺公望、牧野伸顕内大臣も国連脱退を反対していた。陸軍・憲兵・特高・外務省・マスコミ・国民世論は圧倒的に脱退論だった。新聞社132社が共同声明をだし「満州国を危うくするような解決案は、いかなる事情があろうとも絶対に受諾するべきでないこと、全言論機関の名において声明する」

真田紀子

次の第4回は

11月27日(金)

岡輝公民館 午後2時



各々今期の反省、来季に向けての希望などを話し合いながら。 服部

北京体育大学講習会に谷本さんが参加されました。(いいなあーうらやましいいなあー) 帰国のその足で開講式に駆けつけられましたので、そのお話を伺いました。

中国の先生に教わると、微妙なところは伝わるのかな、と思いましたが、日本人の太極拳の上級の方が通訳してくださったので、よく解ったとのことでした。

観光より稽古！と、頑張られたそうです(すごいですね)

### 中国百科検定に合格

小林事務局長から、第2回中国百科検定で3級に合格したとの報告がありました。60問中60点の満点合格だそうです。今後も、百科検定のテキストや問題集を中心に、中国の歴史や地理の学習をして、中国帰国者のみなさんと「中国」について対話を深め、日中友好の一助としたいとのことです。今回は、2級にチャレンジするとのことです。受験された他の理事、会員のみなさんも結果を報告してください。

折を見て学んだことを教えてほしいです。 そのあと、二十四式と三十二式のクラスの分かれて練習開始です。剣のクラスは、ありがたことに前期に続いて2期目です。

前期は岡田先生が一所懸命に指導してくださいました。命に指導してくださいました。、むずかしいし、私は休みがちでしたので(いいわけです、。。。)ろくに覚えられませんでした。それを反省して、今期はひとつひとつの動きをいねいに深く学んでいきます。少しづつ出来るようになるのはうれしいものです。

押柄

# 日本国民救援会

## 第34回岡山県本部大会

標記の会が、10月17日岡山県民民主会館で開催されました。をふみ出さなければいけないの思いを強くしました。

小林軍治

日中岡山支部から、竹内理事長、小林事務局長、稲葉・河井理事が参加しました。理事長は、救援会の県本部会長として、元気にあいさつしました。みなさんから大きな拍手がありました。

岡山県本部は、拡大目標を決め、民商弾圧事件の取り組みを支援する中で、着実に会員をふやしているとの報告がありました。

日中岡山支部も、会員拡大に「中国脅威論」に負けず一歩



## 映画「みんなの学校」

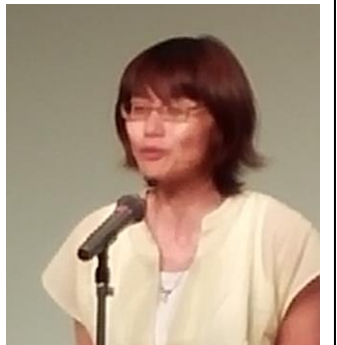
9月5日の土曜日、市民のつどい2015前夜祭として、さん太ホールで上映されました。

内容はタイトルのまま、不登校ゼロをめざし、発達障害がある子ども、自分の気持ちをうまくコントロールできない子ども、みんな同じ教室で学ぶことに取り組んでいる小学校のドキュメンタリーでした。

場所は大阪市立南住吉大空小学校。2006年に開校した

小学校の初代校長、木村泰子さんの「みんながつくるみんなの学校」を合言葉に、すべての子どもを多方面から見つめ、全教職員のチーム力ですべての子どもの学習権を保障する学校をつくることに情熱をそそぐ、観ているだけで力が湧いてくる映画でした。

2010年から大空小学校での取材を開始し、長期間の取材を許可される関係をつ



迫川緑さん

くりあげた監督の真鍋俊永さん、そのパートナーで関西テレビの迫川緑さんがこの映画を企画されたということですが、当日舞台あいさつに立たれました。

こんな学校が日本にもあることを、やればできるといふことを、映画が語ってくれています。

パンフレットの説明です。

「学校が変われば、地域が変わる。そして、社会が変わっていく。このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではない。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子どもたちのどんな状態も、それぞれの個性だととらえる。そのことが、周りの子どもたちにももちろん、地域にとつても、自分とは違う隣人が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるように育っていく子どもたちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映ししていきます。

真田紀子

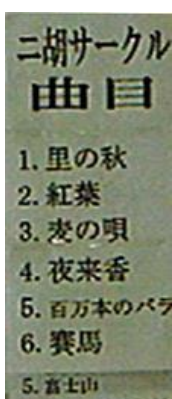
## 二胡サークル発表会 —やさやかな日中交流—

10月10日、岡山市福祉交流プラザ旭東で、第12回プラザ祭り旭東が開催されました。プラザ旭東は、日中岡山支部が今年の総会を開いた場所です。2階の大会議室には、日中カレンダーが掛けてあります。

発表のプログラムの中に「二胡」の演奏があり、高島日本語教室(土)の和田講師が出演しました。演奏を聞きに、日本語教室の講師の井上・貝吹さん及び受講生の大森さんと私の4人が行きました。

里の秋、紅葉は、二胡の音色によく合い、目を閉じて景色を思い浮かべながら聞きました。発表の最後に二胡サークルを指導されている田川(アンセン)先生の「宵待ち草」を聞きました。さすがにプロです。すばらしい演奏でした。田川さんは、国内外で800回を超える演奏会を開き、二胡を通じて日中文化交流に活躍しています。

日中岡山支部 小林軍治



### 岡山県精神保健福祉大会

### やさしさでつくる共生社会

記念講演：「私の歩んだ道 みえないから見えたもの」竹内昌彦先生

岡山盲学校の講師・教頭もされていたすばらしい方です。

お問い合わせ先：岡山県精神保健福祉協会事務局 TEL:086-272-8839

\*日時:11月19日(水)

12時45分～16時30分

\*場所:三木記念ホール

次回の新聞送付作業は11月11日(水)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

石川 小林  
小曾 田和  
竹内 内和  
竹内 内和  
坪井